

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		8		作成日		30年 6月 29日					
事務事業名		東員町・大台町子ども交流事業						シート作成部署							
総合計画上の位置付け	基本施策	3 心豊かなまち						課名		社会教育課		係名		生涯学習係	
		3-1 生涯学びのあるまちをつくる						シート作成者							
	施策	3-1-5 青少年の健全育成						予算費目	会計		一般				
		① 青少年の活動促進							款		10				
主要施策									項		5				
									目		3				
個別計画名															
住民との関わり		その他													
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）										
	町内在住の小学生（高学年）				夏休み期間中に、大台町を訪れ、地元の小学生と交流を図りながら、子どもたち自らが、体験したり挑戦したりする中で「生きる力」を身に付けていくことを支援する。										
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		大杉谷自然学校で1泊2日の自然体験学習を行い、子どもたちが自主的に活動する力を身につけることができるようにサポートする。													
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 20年度		～		平成 年度（ 年間）		<input type="checkbox"/> 期間設定なし							
根拠法令・要綱等															
		平成28年度（決算）			平成29年度（決算）			平成30年度（予算）							
全体事業費（千円）A+B		0			501			788							
財源内訳	国庫支出金		0			0			0						
	県支出金		0			0			0						
	地方債		0			0			0						
	その他特定財源		0			0			0						
	一般財源		0			501			524						
直接事業費（千円）A					501			524							
人件費（千円）B					0			264							
内訳	一般職員（人・千円）		0.00 人		0		0.00 人		0		0.04 人		264		
	臨時職員（人・千円）		0.00 人		0		0.00 人		0		0.00 人		0		
成果指標	成果指標名				単位		29年度		30年度		31年度				
							目標		実績		（目標）				
	① 参加者数				人		30		29		30				
	②														
③															
説明															

事業名	東員町・大台町子ども交流事業	シート作成課	社会教育課
-----	----------------	--------	-------

一次評価者	社会教育課長	二次評価者	教育委員会事務局長
-------	--------	-------	-----------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	子どもたちに自然体験を通じて「生きる力」を育むことを目的として実施しています。
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	町内の小学校児童が集まり、一緒に体験学習を行うことで、体験する学習のほかにも人との繋がりができます。
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	参加する男女差は生じるものの、概ね開講できています。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	指導については現地のスタッフがを行い、行政はコーディネーター役となっています。

本事務事業の実施適切性の説明

子どもたちが自然に触れ合いながら、大台町の子ども達と体験学習を行う機会を提供する目的で実施しています。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
今後の改革・改善目標	夏季登校日等を考慮しながら、開講する必要があります。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
コメント	他の事業や学校行事と調整を図りながら、実施する必要があります。						

二次評価に対する課の考え方

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する
------------	------	----	------	--------------